審査基準・配点表(計 100 点満点)

1. 技術点(選定委員による採点:計 90 点)

評価大項目	評価項目	評価の視点(チェックポイント)	配点
1. 業務遂行能力	受託実績	類似業務(スマホ相談会・教室、高齢者向けデジタル支援等)の受託実績が豊富であり、確実な事業実施が期待できるか。	15 点
2. 業務実施体制	実施体制・危機管理	専門性を持ったスタッフ配置計画となっているか。突発的な欠員へのバックアップ体制やトラブル発生時の対応フローは確立されているか。	15 点
3. 業務実施方針・手法	趣旨理解・計画性	事業目的(高齢者の解消及び次年度の地域自走化)を正しく理解し、現実的で実効性の高い実施スケジュールとなっているか。	15 点
	広報・集客・運営	ターゲット層(シニア層等)に関心を持たせる広報戦略となっているか。予約・受付管理が合理的で参加しやすい設計か。	15 点
	創意工夫(指導・教材)	初心者に配慮した接遇方針や、県公式 LINE・生成 AI を分かりやすく体験させる具体的な工夫、利用者の満足度を高める仕掛けがあるか。	10 点
	自走化パックの提案	市町村や地域団体が低予算・少人数で単体活用できるよう、実践的で再利用しやすいパッケージ構成の工夫がされているか。	10 点
4. 情報管理・安全対策	セキュリティ・個人情報	確実なセキュリティ管理体制を有しているか。相談現場における来場者の個人情報保護(パスワード等の保護、データ流出防止)の具体策が講じられているか。	10 点
技術点合計			**90 点**

2. 価格点(事務局による機械的算定:計 10 点)

選定委員による採点は行わず、事務局において以下の算定式により算出する。

$$\text{価格点} = 10\text{ 点} \times \left(\frac{\text{最低見積価格}}{\text{当該提案者の見積価格}} \right)$$

(※小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで算出)

【採点基準(評価尺度・アンカー)】

各選定委員は、上記各項目の配点に対し、以下の 5 段階の評価割合を乗じて採点すること。

- **優(100%)**:提案内容が極めて優れており、高い効果が期待できる。
- **良(80%)**:仕様要件を十分に満たしており、適切な効果が期待できる。
- **可(60%)**:標準的な提案内容であり、業務遂行に問題はない。
- **やや不十分(40%)**:提案内容に具体性が乏しく、一部懸念がある。
- **不適切(20%)**:仕様要件を満たしておらず、業務遂行に重大な疑義がある。

※全委員の技術点平均値に価格点を加算した総合得点が**満点の 6 割(60 点)未満**の場合は、委託候補者として選定しない。